

## 平成20年（暦年）入込観光客「推計」調査の概要

### （1）調査の目的

この調査は、本県の観光地に来遊する観光客を調査（推計）し、今後の観光行政施策等に役立てることを目的とする。

### （2）調査方法

県内全市町村からの報告に基づいて集計した。

### （3）調査の要領

#### ア 調査の範囲

県内全市町村（各市町村単位）

#### イ 調査の期間

平成20年1月1日から平成20年12月31日まで1年間

#### ウ 調査事項

##### （ア）観光客の目的別の入込客数

ハイキング及び登山、花見及び紅葉狩り、釣り、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学、遊園地、各種行事・まつり見学、スポーツ（観覧客、ゴルフ、テニスなど。）、産業観光（観光農業を含む。）、その他（ドライブ、ボート遊び、修学旅行など。）。

##### （イ）県内・県外別（日帰り・宿泊）の入込客数

##### （ウ）利用交通機関別の入込客数

##### （エ）消費金額

### （4）調査結果

#### ア 観光客入込の動向

平成20年1月1日から平成20年12月31日までの入込客数は、1億1,396万人と推計され、前年の1億1,148万人と比べて、248万人増加し、率では2.2%の増加となった。

目的別では、各種行事まつり見学客が前年より132万人増加し、12年連続で1位となった。前年と同じく2位のスポーツ客は、109万人増加した。3位の遊園地客は前年より48万人減少しものの、順位は4位から3位となった。なお、前年と比較すると、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学客、その他は増加となったが、産業観光客、花見客及び紅葉狩り客、ハイキング及び登山客、釣り客は減少となった。

イ 県内・県外別の状況

県内客 5,076 万人（構成比 44.5%）、県外客 1,598 万人（構成比 14.1%）、不明 4,722 万人（構成比 41.4%）であった。

ウ 日帰り・宿泊の状況

日帰り客 6,473 万人（構成比 56.8%）、宿泊客 201 万人（構成比 1.8%）、不明 4,722 万人（構成比 41.4%）であった。

エ 利用交通機関別の状況

利用交通機関別で入込順位をみると、自家用車が圧倒的に多く 4,061 万人、次いで鉄道 1,195 万人、その他 826 万人、バス 553 万人の順（不明 4,761 万人を除く。）であった。

オ 目的別の状況

目的別の入込状況をみると、各種行事まつり見学客 2,764 万人（構成比 24.3%）、スポーツ客 2,439 万人（構成比 21.4%）、遊園地客 1,425 万人（構成比 12.5%）、産業観光客 1,353 万人（構成比 11.8%）、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学客 1,263 万人（構成比 11.1%）、花見客及び紅葉狩り客 678 万人（構成比 6.0%）、ハイキング及び登山客 290 人（構成比 2.5%）、釣り客 90 人（構成比 0.8%）、その他 1,094 万人（構成比 9.6%）となった。

カ 消費金額の状況

消費金額の総計は 1,016 億円（55 市町村）である。1 人当たりの消費金額は 1,330 円で、前年に比べ 145 円、9.8%の減となった。

キ 月別の状況

観光客数については、8 月、10 月、7 月、11 月の順に多い。また、消費金額については 10 月、8 月、5 月、11 月の順に多い。